

新たな活躍場所の作り方

実は2017年に入ったあたりから、『自分で仕事を始めたい』という相談がめっちゃめっちゃ増えてきた。自分が大学を出た頃はこんなことを言う人はほぼ皆無だったように思うけど、いよいよここ日本でも大勢の人達が新しい挑戦を始めようと動き始めた。

相談をくれる友人達は往々にして、『今の仕事が非常に不満だ』というところから起業動機がスタートしている所に共通点がある。何か具体的にやりたい事がある訳じゃないけど、とりあえず今ある不満を解消する一つの手段として『起業』という選択肢を見つけた。

こういった相談がこれだけ増えて来たとなると、今、その回答のいくつかを文章にまとめて出しておけば、結構色々な人の役に立つんじゃないかと、今回はそんな思いつきから『新たな活躍場所の作り方』というテーマで記事を書いてみることにした。

また、この記事では本題に入る前に少しだけ横道に逸れた話をしておきたい。たぶん、『今の仕事が非常に不満だ』という人にはかなり参考になると思うし、これはあなたの身近な人に話しても、きっと喜ばれる話だから。

影響の大きい要素に注目せよ

相談をくれた彼らに限らず、今の時代『職場で思い描いたような待遇を得られていない』という話は本当にあちこちで耳にする。現在受け取っている待遇に不満があるとき、人はほとんどの場合で『もっと仕事ができるように』とか、『もっと勉強しよう』と思うけれど、そうやって技能を高めていったとしても、受けられる待遇はそこまで大きくは向上しなかったりする。待遇、労働条件、何ととってもいいけど、これらのモノの増減には、実はその人が持つ技能はそれほど大きく影響しない

モノだからだ。労働者の待遇を司る要素はというのは、実はその影響度の序列があったりする。それは以下のように。

どの国か、どの地域か、どの業界か >> どの会社か > どれくらい有能か

このように、実は一人の労働者の待遇には、『どれくらい有能か』や『どこの会社か』よりも、その他の『どの国か』『どの地域か』『どの業界か』といった要素の方が大きな影響を及ぼす。例えば海外の労働者なんかを見て欲しい、**海外の労働者の方が日々楽しそうに、そして楽に仕事をしているにも関わらず日本よりも高待遇**なんて事はざらにあるけれど、彼らは日本人より高い技能を備えているかということ、そうでもない。彼らが日本人よりも楽しそうに、かつ高待遇を受けているのは、身を置いている場所、業界が日本よりも有利な場所であったというだけなんだ。

『どの国か』『どの地域か』『どの業界か』という要素が良い条件下にあるならば、ハッキリ言って日本人の平均的な能力を備えた人なら、今よりもかなり待遇の良い仕事に就く事ができる。ほとんどの人がそうならないのは、影響力の少ない右側2つ、『どこの会社か』『どれくらい有能か』の部分を必死で満たそうとしてしまうから。

猛勉強と転職サイトの閲覧くらいしか、打開策を見つけない。しかも、『これまでの経験を生かしたい』なんて考えるもんだから、転職したとしても大体は同じ業種の中での移動を繰り返してしまう。

これじゃあ、大きな変化が起きる可能性はかなり低い。

俺たちが受けとれる待遇は、ハッキリ言って個々の能力なんかより、あらゆる外部環境の方がはるかに大きく影響を受ける。『同じ仕事は同じ値段』ということの意味する『一物一価』なんて言葉があるけれど、これはあくまで傾向としてそっちに向かうというだけであって、歪みは必ずどこにでも、いくらでも、そしていつでも生じている。そこに目をこらせば、今よりうも変化の兆しが見えやすくなる。

世界を見れば、日本の大卒労働者より高卒アルバイトさんの方が全然給料が高いっ

てこともザラにあるし、今自分のいるニュージーランドだって、法律で定められている最低賃金は日本円にして1500円（笑）（それを少しでも下回れば違法とみなされる！）

日本ではマッサージが2980円で受けることができるけど、オーストラリアは今でもまだ5000円を切ることはほとんどない。だから、自分の仕事を再検討する機会があったら、『まずは資格を取って、、、』なんて事より、**どこの国か、どこの地域か、どこの業界か**という要素にまず注目すべきだ。ここに注目して進路選択をするだけで、受け取る待遇は大きく変わるから。

こんなことを言うと、『そんなこと言ってもいきなり海外は無理でしょ、、、』と思う人は以外と多いのかもしれない。でも大丈夫、思った以上にそのハードルは低くなってるから。英語なんて片言でも働ける場所はいくらでもあるし、日本人オーナーの会社だってたくさんある。航空券だって今は本当に安い。子育てをしている人だって、今は家族で海外に出人も沢山いる。海外は多くの人が思っている以上に、めちゃめちゃ近い所になってるんだ。

だから、もし『今の仕事に対する不満がただ強いだけ』なんて人がいたら、まず上で書いた国、地域、業界をじっくりと再検討し、**ここだ！**と言う所に勇気を出して『えい！』っと移動してしまえばいい。たとえ選択肢に”世界”を含まなかったとしても、日本国内のどこの地域なのか？また、将来期待のできる業界は何か？などもしっかり検討して身の振る舞い方を決めることで、起業するなんかよりも、よっぽど手早く仕事に対する不満をとりのぞけるかもしれない。

余談が長くなってしまったけど、先にこの話をしたのは、別にお金とか待遇目的で起業するなら、もっと早くて楽な道がいっぱいあるって事を知って欲しかったから。

だから、まさに今始めようとしているなんらかの活動は、必ずしも沢山の金を稼がなければ行けないわけじゃない。『仕事としてやる！』でもいいし『趣味として始める』でもいい。生活費の調達方法なんて、今の時代無限に方法があるのだから。この記事ではお金になりそうかどうか？というのは脇に置いて、まず広い意味での『新たな活躍場所の作り方』という方向で読んでほしい。

新たな活躍場所を創造せよ

動画サイトやSNS等、様々なインフラが整いまくってきたここ数年、自分のアイデアや技能を活かす場所は、もう自分の手で作ることができる様になった。個性、活力溢れる個人が、大きなコネや資金、許可を必要とせずとも世の中に対してあらゆる影響を及ぼすことができる。

この恵まれた環境のほとんどは、もちろんインターネットによって作られた。俺たちが日常的に使っているネットは、単にニュースや動画を閲覧するだけでなく本当に様々な利用方法がある。これらを一つ一つうまく使いこなせるようになっていくだけで、俺たちは新たな活躍場所をどんどん生み出し、関われる人、貢献できる場所を増やしていく事ができる。逆にインターネットによる発信活動を避けて、何か新しい活動を始め、継続していく事はかなり難しい。分野に限らず、何か世の中に対して新しい活動を始めるとするならば、まずは“**ネット上での発信活動に慣れること**”がスタートだ。ここをクリアしなければ、時代の可能性を最大限に活用し、活躍のステージを広げることはできない。

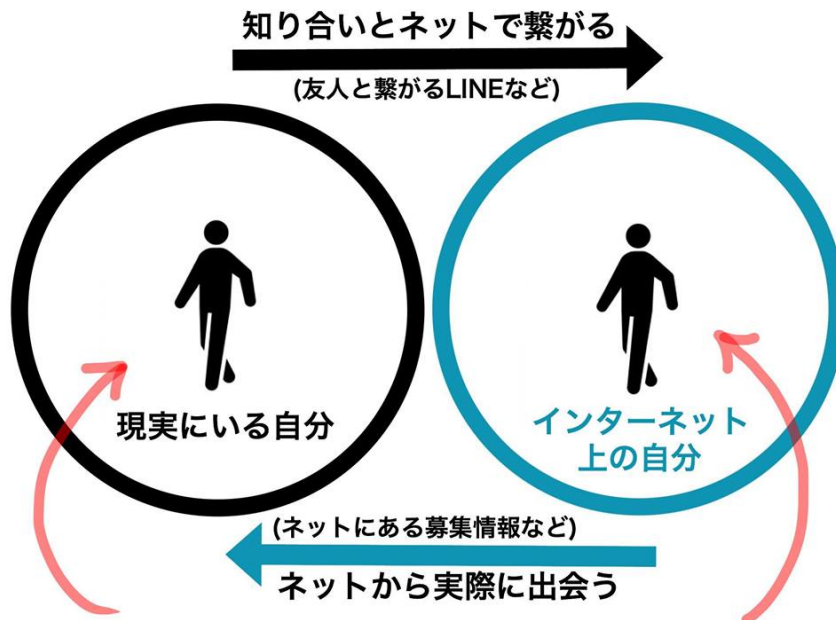
発信できる人と、できない人

という事は、新たな活躍場所を創造していこうとする上で、まず一番最初に成功不成功をバツサリと分けるのは、

自ら発信している人と、他者の発信を閲覧するだけの人の差になる。

今、ほとんどの人がネット上で持っている人間関係は、“以前から交流のある友人達”とのもので、職場や昔の友人達とSNSでつながり、日々コミュニケーションをとっている。でも、『自分の活躍場所を作る！』という目的を達するためには、これとは真逆の発想が必要だ。それはインターネットで知り合い、実際に出会う。というように、『現実→ネット』ではなく『ネット→現実』という真逆の発想。

『ネット→現実』という出会い方にまずは慣れる事。そのためには、当然現実世界だけでなく、インターネット上に自分をしっかりと登場させ、『自分はここにいる』と、発信活動を始めることが始めの一步になる。現実と、インターネット上、二つの場所で自分が存在している事が、当たり前にならなければならない。



2人存在させることがスタート！

具体的な発信媒体として、facebookやインスタなどのSNSから、ブログ、Youtubeなどがあるけれど、スタートとしてオススメなのがブログだ。理由は運営が簡単という事もあるけれど、文章をしっかりと扱えるようになるから、というのが一番大きい。ネット上でなんらかの活動を始めるとき、特別な場合を除いてはやはり文章というのは避けては通れないし、自分の考えをしっかりと文章化できる様になれば、その後ネットでどんな活動をするにしたっていろいろと楽になる。

例えば、自分は日本でサッカースクールなんかもやっているけれど、このコミュニティの立ち上げも始めは全て文章一本で行った。自分がやろうとしていること、理念、その情熱を何十時間もかけて文章に起こし、発信し続けた。

サッカースクールの他にも、毎年夏には子供たちにクワガタを配ったり、冬にはサンタクロースを街に派遣してみたり、様々な思いつきを文章で提案できる事は、思いつきの実現可能性を大きく引き上げる。

もちろん、文章に限らず、何か具体的に『これ！』という発信方法があるならばそれでもいい。とにかく自分のメディアを作って発信を始める事が大事。

発信テーマは自分が好きな分野、 にある落とし穴

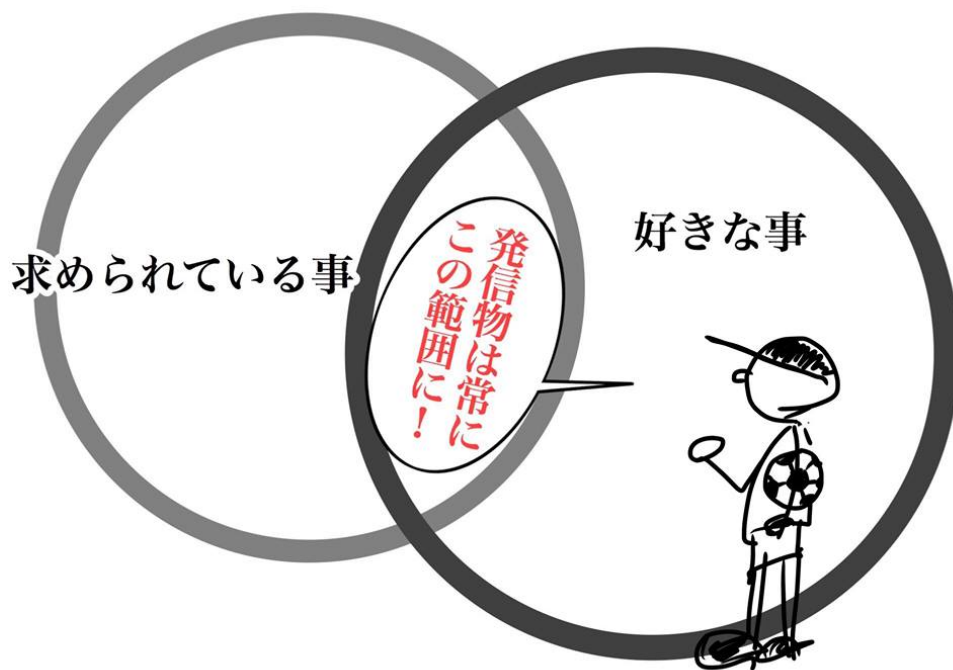
それじゃあ、今度はいったいどんなテーマで発信を始めればいいのか？という事になると思うけど、それはベターに『自分の好きな事、興味のある事』という答えになる。なるんだけど、発信者本人の意気込みが強ければ強いほど、他者との差別化を図ろうと、色々組み合わせてみたり、変な捻りを加えてしまう事で外部に全く理解されない発信物になってしまうことがある。

これに興味ある人はいるのだろうか？？という外部とのコミュニケーションをすっ飛ばした企画になってしまう例だ。こういった例は、案外頻繁に目にする。

極端に言うと、“お花を生けながらW杯を観戦しましょう”みたいな、『それやりたいのお前だけだろ』と突っ込んでしまう様な発信、企画だ。

例えば俺は、お酒よりもジュースが好きで、よくコーラやりんごジュース、オレンジジュースを飲むけど、例えばファミレスでドリンクバーにあるジュースを全て混ぜてみると、くっそマズイ茶色い液体が完成する。それと同じ事が発信の世界でも起きると言うこと。一つ一つは魅力的でも、組み合わせ方や改良の仕方を間違えば、その魅力は一気にゼロになる。

企画というのは、いかに珍しいか？高品質か？という事の前に、**誰のためになるの？**という外部との関係をセットで考えないと、それは完全に独りよがりな発信



物となり、誰からも興味を持たれない。例えばさつき例に出したサッカースクール CCFでは、サッカーだけでなくクワガタを取りに行ったり、釣りに出かけたり、時には勉強をやったりするけれど、あくまでサッカースクールというカテゴリーから飛び出ない様に発信をしているし、チャレンジ専門店として様々な企画に挑戦する厚木チャレンジャーズシティでも、企画ごとに『クワガタを取りに行きませんか?』『歌に挑戦しませんか?』『陶芸やりませんか?』など、実際に募集を行うものはごちゃごちゃと長い説明を必要としない“一言で正体が明らかになるモノ”ばかりに絞っている。

ユニークさは必要だしあった方が際立つけど、あくまで既存のモノに収まる範囲でユニークさを発揮せよ!ということ。説明が困難だったり、何が何だかわからないくらい多くが混ざった活動は、どんなに良いモノでもその魅力は伝わらない。

常に発信物は外部の人のため存在する。それを忘れないこと。

つまり、良い発信をする人ってのは決して突飛な発明家ではなく、優れたコミュニケーターであるという事。友人が多いことだったり、コミュニケーションが得意であるというのは、実は外部を理解するための素質、発信者としての素質になる。

好きなことに没頭することが 未来への準備になる

ここまでで、新たな活躍場所を作るために、今から何を始め、何を発信すべきなのかを書いてきた。次は**発信物に乗っかるモノ（提供物の魅力、価値）の育て方**、料理でいうならば**食材、素材**の話をしていきたい。どんな料理人を呼んで、どんな調理法を用いようと、そもそも**食材が腐っていたらマズイものしかできない**からね。逆に、この部分がとんでもないハイレベルであるならば、比較的簡単に新たな活躍場所を作る事ができる。

まず“**素材**”を考える上で注目して欲しいのが、近年新たに登場しているウェブサービスのほとんどが“**個人の持つ優れた能力を市場に出そう**”というものばかりだという事。このままこの流れが進んでいけば、現在**お金のためだけに存在しているようなクソサービス**がどんどん淘汰され、本当に良い物と、人々がつながりやすくなっていく。

これはつまり、コネとか、組織の規模とか関係なく、『**支持されるか否か**』でバツサリ明暗が分かれる、**完全な実力主義**になっていくと言うこと。個人の自由化がどんどん進んでいる海外では、もうかなりその傾向が強くなってる。ならば当然、自分の持つ『**素材の質**』を上げ続けられない事には、いくら発信が上手くなってもその活動は長続きしない、選ばれ続ける事ができない。

さっき『**ネットの発信技術を高めること**』みたいなことを言ったけど、ネット上での発信技術はあくまで勝負の土俵に乗っかるための前提であって、ある一定のレベル以上になってしまえば十分、あとはいかにして自分の提供物の**魅力、価値**を磨いていくかの勝負になっていく。

だから、今は**何かに没頭して日々研究しているような人には、とても攻略しやすい時代だ**ということ。例えば同業の人たちを一挙に並べて、『**この中なら余裕で俺でしょ**』と自信を持って言える人ならば、普通にネットを使って発信を始めるだけで、**発掘されるのは時間の問題**。どんどんファンを獲得する事ができる。

（そもそも競合しないようにと言う話は、今は脇に置いておく）

もちろん、何度も言う様に、ネット上で一切の発信の無いモノはそもそも発見しよ

うがないので、少なくとも『ネット上に情報を出し続けられれば』って言う条件はつく。けれど、その難易度自体はどんどん下がっていく。ある程度の発信技術を学び、実践さえできれば十分。もっとも要となるのは、発信者やサービス提供者の情熱。

だから、暇さえあるなら『自分の好きな事』をいつか誰かの役に立たせるという前提で磨き続けられればいい。今は好きなことに没頭するだけで、未来の準備をすることになる。

ひたすら好きな事に向き合い極め続けていくだけで、将来必ずいい事がある。これは俺自身が好きな事を延々とやってきたタイプの間人だから、めちゃくちゃ自信を持って言える。暇さえあれば畑の手入れをし、食材を磨き上げろ！

情熱ある分野で急がず焦らず

それと、もう一つ重要なのは、始めたなんらかの活動に対して、結果を急がない事。ブログだろうが、インスタだろうが、Youtubeだろうが、とりあえずは数十個単位の発信物（投稿数とか、動画数とか）を揃えないと、たいした変化は起こせない。だから、1年以内に何か大きな変化が起こせたら大成功くらいに捉えておかないと、途中で力尽きて辞めてしまう（笑）

また、数十個単位の発信物を作ることができないのなら、それは自分に適したテーマで活動していないことを意味する。最近流行りのブロガーなんかは、とにかく記事を増やすことに必死だから、何の情熱もない“自称お役立ち情報”を必死にアップして、程なくして力尽きて消えていく。

結果に目がくらみ、なんの情熱もない記事をカチャカチャとアップし続けたところで、誰にも興味を持たれることはないし、上手く行った所で虚しい活動であることに変わりはない。こういった種の活動は、『他の誰かに貢献できている』という自覚を得ることができないからね。『貢献できている』という感覚を持たない活動は、将来いくら規模が大きくなって行ったとしても、大した充実感を得ることは無い。

だから、せっかくやるならば自分が情熱を注いでいる分野、注げる分野を選択し、結果を急がず気長に発信していこう。金銭的に大きな結果が出ても、出なくても、『明らかにじ自分らしい！』と深く感じられる活動は、俺達の人生をメチャメチャ楽しいものにさせる。そして、それは必ず世の中にとって、自分の周囲にとっても、超有意義な活動になる。

子供達に『お前たちは無限の可能性がある』 というのなら。

最後にもうすこしだけ。

新たな分野の知識を得ること、技能を高めること、移動すること、コネクションを作ること、新たな活躍場所を探すために、あるいは作るために必要とされる時間は、今はわずか10年前と比べても格段に短縮された。

こんな現実をそのまま見れば、例えば20年前の子供達より、今の時代の大人達の方が、人生における可能性は圧倒的にでかいのだなと言うことに気づく。以前、学校の先生が『お前たちには無限の可能性があるから～』みたいな話をしていたけど、これが今の時代なら『お前もな』ということになる。本気になれば、いつからでも、どこからでも、何者にもなれるのが今の時代だ。

だから『今から新しいことなんて、、、』なんて考えを少しでも持つことは、本当に勿体なさすぎる事で、それは『子供の頃から諦める』みたいな話になる。

今は、大人も子供も未来の可能性は同等。

だから、俺はうちのスクールの選手たちに『ふふお前たちにバトンを渡したなんて思うなよ』と、いつも言ってるんだ。お前たちの可能性は確かに計り知れないが、それはお互い様。だって人の未来の可能性を測る指標は、もう『若さ』ではなく『モチベ』次第なんだから。

お前は今の現実をどう思う？

『確かに、まあ理論上はそうかもな、、、』くらいに思うのならば、あとは準備を始めて動き出すだけだな。そうだろ？自分の可能性をマックスまで使い切ったら一体どんなことが起こるのか。興味が無いヤツなんて、居ないはずだ。

-おしまい-